

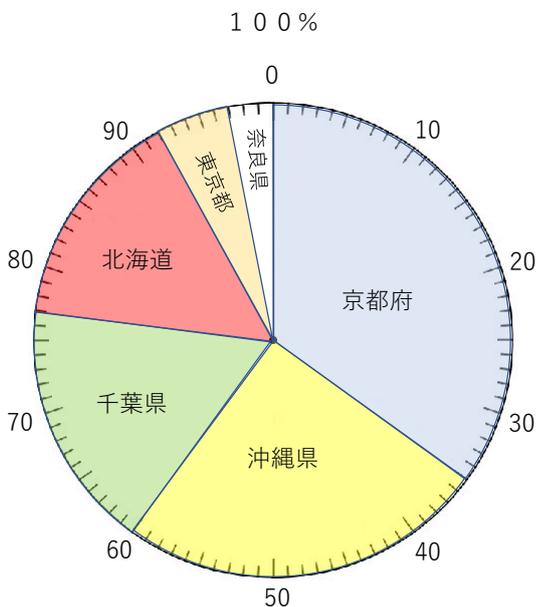
5年	帯グラフと円グラフ（問題1）	ひにち	月 日
なまえ		りかい度 チェック	◎ りかいできた ○ ふつう △ むずかしかった

みんなは、新聞を見たことがあるかな？
割合を表すのに、円グラフや帯グラフはよく使われているぞ！



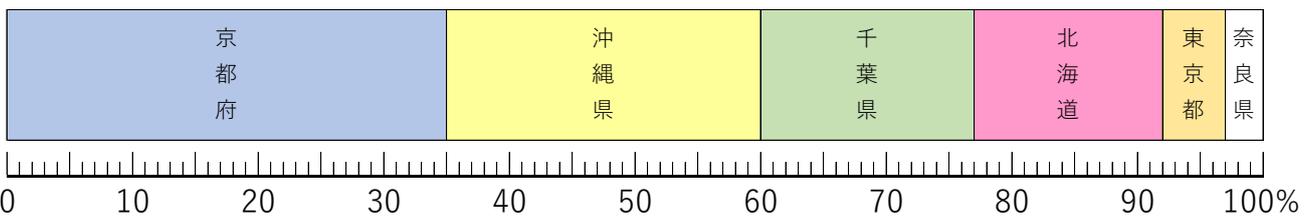
1 右の表は、太郎くんの学校の6年生が修学旅行で行きたい場所の人数を調べたものです。

- ① 表の中のそれぞれの人数が全体の何%になるかを求めて表に書きましょう。
割り切れない答えは、少数第3位を四捨五入して百分率で求めましょう。
- ② 右の表を、帯グラフと円グラフに表しましょう。



場所	人数(人)	ひゃくぶんりつ 百分率(%)
京都府	42	35
沖縄県	30	25
千葉県	20	17
北海道	18	15
東京都	6	5
奈良県	4	3
合計	120	100

- ①割合を求める $42 \div 120 = 0.35$
- ②百分率にする $0.35 \times 100 = 35$
- ①割合を求める $30 \div 120 = 0.25$
- ②百分率にする $0.25 \times 100 = 25$
- ①割合を求める $20 \div 120 = 0.17$
- ②百分率にする $0.17 \times 100 = 17$
- ①割合を求める $18 \div 120 = 0.15$
- ②百分率にする $0.15 \times 100 = 15$
- ①割合を求める $6 \div 120 = 0.05$
- ②百分率にする $0.05 \times 100 = 5$
- ①割合を求める $4 \div 120 = 0.03$
- ②百分率にする $0.03 \times 100 = 3$



③ 京都府と沖縄県を希望する人を合わせると全体の何%になりますか。 (**60** %)

$$35 + 25 = 60$$

④ 沖縄を希望する人は、東京都を希望する人の何倍になりますか。 (**5** 倍)

$$30 \div 6 = 5$$

沖縄 東京都

